

ハンバーグを 極める！

We Love
ハンバーグ！

みんなが大好きなハンバーグ。定番のおかずだからこそ、ひとつ失して楽しんでみませんか？「洋食屋さんみたいな本格的な味わいをおうちでも」「もつとふんわりした食感を出したい」「いつもと違う味にトライしてみたい」：。今回はそんな声にお応えする、ハンバーグのあれこれを紹介します。涅槃や焼き方など、基本のポイントもおさらいします。コツを押さえて作れば、ぐつとおいしくなりますよ。

きっと「今日のハンバーグ、ひと味道う！」とうれしい驚きを感じてもらえるはずです。



写真のハンバーグは…
粗びきジューシーハンバーグ
(作り方はp.6~)

内臓をとりたいときは



- 内臓が気になる場合は除きます。姿がくすぐれないよう、頭を落とし、おなかを切らずにとり出します。
- おなかを軽く押して、切り口から内臓を少し出します。包丁の刃先で内臓を押さえ、さんまを左に引くと、とり出せます。

洗いながらうろこをとる



- さんまにもうろこはありますが、洗いながらかんたんにとれます。指先で軽くこするように洗います。
- 新鮮なさんまの内臓は、火が通っていればおいしく食べられます。できれば、丸ごと焼いて、内臓も味わいましょう。

尾とひれに塩をつける(=化粧塩)



- 焼く直前に、尾とひれ(胸、背)に、指で塩をたっぷりこすりつけます。
- 化粧塩といい、尾とひれがこげずにきれいに焼けます。

焼く5分前に、塩をふる



- さんまをざるにのせ、少し上から、両面にまんべんなく塩をふります。1尾につき、小さじ $\frac{1}{2}$ がめやす。
- 5分したら、出てきた水気をペーパータオルでふきとります。身がしまって、生ぐさみがとれます。

Q

さんまの
うろこと内臓は?

身をくずさず、
よい焼き色に
焼きましょう。

お料理初めてさんも
ベテランさんも
ポンと手を打つ
なるほどキッチン!
秋の味覚、さんま。
塩焼きにすることが
多いと思います。
ポイントをおさえ、
おいしく食べましょ。

なるほど
キッチン



料理にちょっと使いたいとき
お弁当にと、
あると便利です。



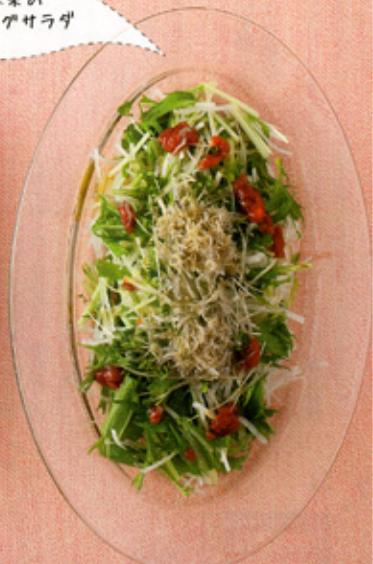
豚肉のソテー
梅ソース



だいこんと水菜の
梅ドレッシングサラダ



梅むすび2種



甘ずっぱい練り梅のソースで
さっぱりと食べられます。

豚肉のソテー 梅ソース

□材料(2人分): 1人分296kcal

豚ロース肉(とんかつ用)	2枚(200g)
塩・こしょう	各少々
小麦粉	大さじ½
サラダ油	小さじ1
梅ペースト	大さじ1
A [しょうゆ	小さじ1
酒	小さじ2
サニーレタス	2枚

□作り方

- ①豚肉は脂肪と肉の間の筋に切り目を数か所入れ、肉たたきなどでたたいて形をととのえ。塩、こしょうをふり、小麦粉を両面にまぶす。
- ②フライパンに油を温め、肉を入れて中火で約2分焼く。焼き色がついたら裏返し、弱火で2~3分焼く。中まで火が通ったら皿にとり出る。
- ③梅ペーストにAを少しづつ加えてのぼし。④にかける。サニーレタスをちぎって添える。



和風の梅ドレッシングが
かんたんに作れます。

だいこんと水菜の 梅ドレッシングサラダ

□材料(2人分): 1人分132kcal

だいこん	80g
水菜	50g
ブロッコリースプラウト	¼パック
ちりめんじゃこ	15g
サラダ油	小さじ½
(ドレッシング)	
梅ペースト	大さじ1
しょうゆ	小さじ½
オリーブ油	大さじ1½

□作り方

- ①だいこんは3~4cm長さのせん切りにする。水菜も同じ長さに切る。だいこんと水菜を合わせて冷水につけてパリッとさせ、水気をきる。
- ②スプラウトは横元を落とし、水につけて水気をきる。
- ③フライパンにサラダ油を温め、ちりめんじゃこをカリカリになるまで弱火で炒める。
- ④梅ペーストにしょうゆを少しづつ加えてのぼし、オリーブ油を少しづつ加えて混ぜる。
- ⑤①、②の順に器に盛り、ちりめんじゃこをのせ、ドレッシングをかける。